

# 平成26年度 社会を明るくする運動

7月は『社会を明るくする運動』強調月間でした。この行事の一環として、児童・生徒の皆さんへ作文を募集したところ、多くの作品が寄せられました。

厳正な審査を行い、受賞作品が決定しましたので、優秀・最優秀賞を受賞した作品を紹介します。  
(最優秀賞のみ全文掲載) (敬称略)

## 最優秀賞 小学校の部

「あいさつが大切」  
秋吉小学校 6年 中野 一輝

ぼくは、社会を明るくするために必要なことは「あいさつ」だと思います。

朝起きて家族にする「おはよう。」のあいさつ。このあいさつに両親と姉は「おはよう。」と笑顔で答えてくれます。このあいさつで、ぼくは「今日も一日がんばろう。」と思います。

ぼくの両親は、あいさつをする事はとても大切だと言います。家族はもちろん、友達、先生、地域の人たちにあいさつが出来るのは、ぼく自身の気持ちが、落ち着いている事のあかしなのだと両親は言います。

ただあいさつするのではなくて、大きな声で笑顔であいさつできれば、ぼくも気持ちよくなります。でも、ちょっといやな事があったり、きげんが悪いときにはあいさつしたくないです。だから両親がいう「気持ちが落ち着いている」という意味が分かりました。

「おはよう」のあいさつ以外に「ありがとう」という言葉もとても大切だと思います。

だれかに親切にしてもらったり、助けてもらったりした時、「ありがとう」を言うのは少しはずかしいと思う時もあるけど言われた相手は気持ちよくなるはずです。

ぼくも両親や姉、友達に「ありがとう。」と言われるとうれしいです。おたがいが気持ちよくなれる言葉をちゃんと言えればいろんな人たちと仲良くなれるとぼくは思います。

最近家族でテレビを見ていた時、

ぎゃく待のニュースが放送されていました。親が自分の子供に暴力やきびしい言葉をあびせ、その子供がなくなった。他人を家にとじこめて暴力をふるうなどという内容でした。一緒に見ていたお母さんが、こんな事をする人は人間的に問題がある。気持ちがみだれていて、まともな感情がわからないんだろう。だから何かにあたって、気持ちを晴らしているのかもしれないと言いました。ぼくは少し理解出来なかったところもあるけど、イライラして両親に反こうしてしまう事もあるからその気持ちに、似ているのかと思います。

いやな気持ちを晴らすために弱い人に暴力をふるうのは、もしかするといじめをする人と同じなのかもしれません。

相手に対して、悪いことをしてごめんなさいという気持ちになれば暴力や意地悪な言葉をいったりいじめたりしないと思います。

学校でいじめについて勉強した時、ぼくは相手を思いやる気持ちがあれば、いじめはなくなると思いました。イライラして気持ちが落ち着いていない時は、自分でもいやなくらいいやな言葉や態度になってしまいます。

だから朝の「おはよう。」のあいさつがちゃんと言える事は、気持ちが落ち着いているからです。そのかんきょうこそが、社会を明るくする事ができる第一歩だとぼくは思います。

もちろん「ごめんなさい」「ありがとう」の言葉も大切だと思います。

## 最優秀賞 中学校の部

「心のつながる町づくり」  
於福中学校 2年 山田 裕葵

最近、ニュースや新聞などで、犯罪・非行の報道をよく見ます。大人だけではなく、青少年が犯してしまった事件も少なくありません。なぜ、このようなことが多く起こっているのか、私は不思議だったし、まだ成人になっていない人たちが事件を起こすということがとても理解できません。

でも、このような事件が多く発生しているのには、何か原因があるのだと思います。加害者が悪いということはわかっていますが、全てが加害者のせいだとは思いません。

人との付き合いなど、周囲の環境にも、原因があるのではないかと私は考えます。

罪を犯してしまい、社会復帰できるまで反省と償いをして、新しい自分になって帰ってきたとしても、自分の居場所がないと感じたり、周りから偏見の目で見られたりするとひどく落ち込むと思うし、再び罪を犯してしまうことがあるかもしれません。だからこそ、周囲の環境を整えておくべきだと思うのです。

私たちの周りには、優しくて温かい人たちがたくさんいてくださいます。いつもそばにいて、支えてくれる家族。私たちのことを考え、接してくれる先生方。相談にのってくれたり、一緒にいてくれたりする友達。雨の日や雪の日、暑い日や寒い日などどんな日でも、登下校の安全を見守ってくださる地域のみなさん。この方たちが私たちを守ってくださるおかげで、毎日を平和に、幸せに過

# 最優秀作品の紹介

ごすことができます。本当に感謝しています。それに、自分の居場所があるということを感じることができています。学校で嫌なことがあっても家に帰れば、優しい家族が待っていてくれるので、次からは頑張ろう、明日からは良くなるように変わってみようと思うことができます。

今、学校では「あいさつ十一言」ができるように日々努力しています。この「あいさつ十一言」も周りにいる人とのコミュニケーションをとり、絆を深めることのできる一つの方法だと思います。

今年の夏休みに、私たちの学校へ台湾の中学校の同級生が来て、「交流会」を行いました。日本と台湾では言語が違うので、世界共通の英語を使わなければなりません。始めは、ちゃんと会話

ができるのか、仲良くなれるのかと、とても不安でした。しかし、迎えるための準備やリハーサルを繰り返すうちに、不安なのは私だけではないのだと気づきました。台湾の中学生に安心して楽しく過ごしてもらうために、積極的に話しかけてみようという気持ちに変わりました。当日は、とても緊張しましたが、二人の女子に思い切って「ハロー！」と声をかけました。すると笑顔で応えてくれました。それから、その二人とは仲良くなることができ、私も楽しい「交流会」を過ごすことができました。あの時声をかけていなかったら、台湾の二人とは話せていなかったと思うし、仲良くなれなかったと思います。積極的に話しかけていて良かったと思います。

「あいさつ十一言」をすること

によって、会話がつながり、顔や名前などを覚えてもらえるし、自分の居場所をつくることができます。

私たちの町には、罪を犯してしまう人はいないと信じています。ですが、もしそのようなことが起こってしまった場合は、その人が安心して復帰できる場所をつくって待ってあげたいと思います。そして、私も人とコミュニケーションをとり、絆を深めたいです。この町が明るい町になるよう、努力していきたいと思います。

## 優秀賞

### 小学校の部

伊佐小学校 6年

村上 菜々子

「ぼかぼか言葉で世の中をチェンジ！」

別府小学校 6年

阿座上 愛美

「犯罪や非行のない地域社会づくり」

### 中学校の部

豊田前中学校 2年

小林 和佳奈

「犯罪や非行をなくすために」

秋芳北中学校 2年

村上 結実

「社会を明るくするには」

問合せ先 地域福祉課 [☎0837(52)5228]

## 「女性の人権ホットライン」 「女性に対する暴力をなくす運動」強化週間のお知らせ

配偶者・パートナーからの暴力や職場におけるセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等、女性をめぐる人権問題で悩んでいる人からの電話相談を受け付けています。

相談は無料で、秘密は厳守されます。

我慢していませんか？一人で悩んでいませんか？話してみませんか？あなたの気持ち、どんな小さなことでも結構ですからお聞かせください。

女性の人権ホットライン強化週間 11月17日(月)～11月23日(日) ☎0570(070)810 平日 8時30分～19時 土日 10時～17時 ※強化週間以外は平日8時30分～17時15分	女性に対する暴力をなくす運動週間 11月12日(火)～11月25日(火) ☎0570(0)55210 (DV相談ナビ) 24時間音声案内
問合せ先 山口県地方務局人権擁護課 山口県人権擁護委員連合会 ☎083(922)2295	問合せ先 美祢市男女共同参画推進室 ☎0837(52)5228



パープルリボンとは、「女性に対する暴力根絶運動」のシンボルマークです。